

公表所管課長 様

まちづくり推進課長 一井 健二

会 議 要 録

名 称	第 2 回西予市移住交流促進協議会部会長会	
事 務 局	総務企画部まちづくり推進課地域振興係	
	電 話 0 8 9 4 - 6 2 - 6 4 0 3	
	F A X 0 8 9 4 - 6 2 - 6 5 7 4	
開 催 日 時	令和 2 年 2 月 20 日(木) 1 8 : 0 0 ~ 1 9 : 3 0	
開 催 場 所	西予市教育保健センター 1 階 和室	
出席者	委 員	10 名出席 別紙西予市移住交流促進協議会部長・副部長名簿のとおり
	その他	地域おこし協力隊 山口聡子
	事務局	まちづくり推進課 課長補佐 池田いずみ 係長 中井 圭介 地域おこし協力隊 穴井祐介 明浜支所総務課 崎本 周作 城川支所総務課 小田原 誠 三瓶支所総務課 松本 義博
議事内容(要旨)	<p>全体進行：まちづくり推進課 係長 中井圭介</p> <p>1 . 開会 会長あいさつ ・市長も交えた会議の開催も今後検討したい。 ・西予市移住交流促進協議会に参画している市役所職員での会議の開催についても検討したい。</p> <p>2 . 議事（進行：河野会長）</p>	

岩下氏、山口氏、穴井氏をファシリテーターとして、次の議題を一括で協議する。

(1) 情報の共有方法について

(2) 最終目標の確認(10年後も定住できるまちのイメージ)

(3) アンケート(事前課題)について

(岩下委員) 前回の部会長会議の内容報告。

・住まい空き家対策部会、生業・雇用に関する部会、子育て・福祉・教育に関する部会、まちのPR・ブランディングに関する部会に分かれて情報共有用LINEグループの作成。今後、LINEグループで情報共有を図ることを確認。

・各部会から出た自分が暮らす地域や西予市に必要なヒト、モノ、コト等に関する意見について所属するテーマに沿って意見交換。発表。

住まい空き家対策部会

(ヒト) 発信力のある人、若い人、楽しんで(なじんで)生活できる人

(モノ) 住める空き家、貸せる空き家

(コト) 仕事(一次産業)、祭り、行事

(西予市の魅力) 人間性、風景や自然

(移住先に選ばない理由) 認知度、情報発信

生業・雇用に関する部会

(ヒト) 農業に興味のある人

(モノ) 農業法人(単なる農業ではない)

(コト) 生業以外にもPRできるものをつくる

子育て・福祉・教育に関する部会

(ヒト) 若い人、Uターン、元気な人、発信力のある人

(モノ) 巡回バス

明浜地域で保育園に子どもを迎えに行かないといけない。スクールバスと連携できないか。

(コト) 放課後子ども教育、オンラインで大学受講、キャリア教育

西予市独自の働き方を推進した企業には補助金などで支援するなども考えられる。例えば子育て世帯の方で10時~15時勤務でも給料は同一にするなど。

	<p>まちの PR・ブランディングに関する部会 (ヒト)リーダー、農商工の様々な職種 (コト)他にない取り組みを (移住先に選ばない理由)知られていない</p> <p>(城川支所 小田原)城川応援サポーター制度の紹介。市全体のサポーター制度に発展させることも考えられる。</p> <p>総評</p> <p>(池田課長補佐)本日の意見を部会において更なる活発な意見交換をお願いしたい。特色あるアイデアを考えるのもいいのではないかと。</p> <p>(河野会長)実現できなさそうなものほどワクワクする。夢のあることを考えてほしい。子どもたちにも質の高い、最高のものを見せてあげたい。高校の魅力化については、何らかの職業など特化した課程なども考えられる。</p> <p>(羽鳥副会長)今回の話し合いで部会を跨ぐ意見が多く出た。今後も連携を取りながら進める必要がある。2030年の定住社会を作っていくために西予市ならではの暮らし方を考える。それに対しての制度や支援を考える。今後も時間をかけて、協議を進めていく必要がある。</p> <p>(事務局)今後の各部会運営は、担当するファシリテーターとともに進めていただきたい。担当するファシリテーターとして、住まい空き家対策部会は穴井氏、子育て・福祉・教育に関する部会は山口氏、まちの PR・ブランディングに関する部会は岩下氏、生業・雇用に関する部会は3名体制で行う。3月中に部会を開催してほしい。</p> <p>3.閉会</p>
備 考	